

平成27年度「市役所の仕事」花まる通信簿(平成26年度実績)

担当課 25産業振興課

Plan	◆事務事業の概要◆		会計区分	一般会計	事業通番	8764	事務事業コード	2513
事務事業名	地産地消推進事業			開始年度	平成21	終了年度	未定	
種類	ソフト事業(任意)	根拠法令	無し		例規等	佐渡市地産地消条例		
将来ビジョン	1. 産業の振興 (1)農林水産業の振興					H25: 重点●政策○	○	
H26施政方針	1. 人口減少対策 (3)農林水産業の振興					H26: 重点●政策○	-	
H27施政方針	1. 人口減少対策 (6)産業の振興 ③ 地産地消の一体的政策					H27: 重点●政策○	●	
事業概要	第2次地産地消推進計画に基づき、市民・関係機関がそれぞれの役割を認識し地産地消を実践(消費・購買)することで生産者の所得向上と佐渡産品の生産量の確保に繋げる。							
対象	市民(生産者、消費者、事業者等)							
意図(対象をどのようにしたいか)	地産地消運動としての意識の啓蒙から購買・消費の実践へのシフト。同じ農産物で佐渡産品と他産品が並んでいたとき、多少値段が高かったとしても佐渡産品を選ぶことを実践する。							

Do

◆将来ビジョン成長力強化戦略指標◆

項目名	戦略指標	H24現状	H31目標
地産地消(地産地商)による島内消費の促進	地産地消の市民理解度	—	90%

◆事務事業の目標(成果)指標◆

目標(成果)指標名		単位	25年度実績値	26年度(評価年度)		27年度目標値	28年度目標値	31年度目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値			
	佐渡産野菜の島内市場流通率	%	7.2	12	8.1	12	12	12
算式	佐渡産野菜流通量÷全野菜流通量							
	市民の地産地消の意味や取組みの理解度	%	80	75	80	90	90	90
算式	理解者数÷アンケート調査数							

◆事務事業を構成する細事業の事業費・成果指標◆

枝番	細事業名			H25決算額	H26決算額		H27当初予算額	H28以降の予算の方向性		重点細事業
	指標	目標(成果)指標名	単位	H25実績値	目標値	実績値	H27目標値	事業の方向性		
1	地産地消推進計画推進評価事業			210	391		497	予算	維持	
	指標	会議開催数	回	3	20	14	9	事業	維持	
2	地産地消推奨店			440	440		-	予算	不要	
	指標	地産地消推奨店加入数	店舗	-	-	16	-	事業	終了	
3	伝統料理普及啓発(レシピ作成)			50	34		1,470	予算	不要	
	指標	レシピ集作成	件	0	1	0	1	事業	終了	
4	地産地消フェスタ事業			1,443	1,959		1,837	予算	維持	
	指標	開催回数	回	1	1	1	1	事業	維持	
5	HP事業			1,412	746		653	予算	維持	
	指標	アクセス数	回	5700	36500	3972	36500	事業	維持	
6	地産地消推進事業			1,360	220		1,629	予算	維持	
	指標	地産地消の理解度	%	80	75	80	100	事業	維持	
7	地産地消推進計画策定事業			-	578		-	予算	不要	
	指標	計画策定	件	-	1	1	-	事業	終了	
8	学校米飯・米粉/パン給食費補助金			4,027	4,543		-	予算	不要	
	指標	認証米使用量	%	100	100	100	-	事業	終了	
9	地産地消ポイント交換事業			531	202		600	予算	維持	
	指標	ゴミ袋交換数	枚	618	1000	84	1000	事業	維持	
10	野菜・牛肉・鮮魚流通事業			2,044	363		2,376	予算	減額	
	指標	新規供給ホテル数	軒	4	5	0	2	事業	維持	
事業費の合計(千円)				11,517	9,476		9,062			
財源内訳	国庫支出金			1,756	2,209		3,962			
	県支出金			0	0		0			
	地方債			0	0		0			
	その他			0	2,295		200			
	一般財源			9,761	4,972		4,900			

Check

◆事務事業を構成する細事業の評価◆

A：適正である B：検討の余地あり C：見直しすべき

枝番	細事業名	妥当性	有効性	効率性	課題と対策
1	地産地消推進計画推進評価事業	B	B	C	第2次地産地消推進計画における各団体の取り組み活動について、相互チェック・検証しながら、目標達成にむけての進捗管理を行う。
2	地産地消推奨店	B	A	A	メイド・イン・サドブランド創出事業へ移行
3	伝統料理普及啓発(レシピ作成)	B	B	A	平成28年3月に約200のレシピを収録したレシピ集の作成を完成させる。伝統料理のみならず、季節の食材でできる簡単なレシピを扱うなどし、若い母親にも佐渡産食材を使ったメニューを身近に感じてもらう。
4	地産地消フェスタ事業	A	A	A	生産者と消費者を結ぶ交流ならびに啓発促進の場として年1回のフェスタを開催する。
5	HP事業	B	C	C	第2次地産地消推進計画を「見える化」し、市民、関係団体へわかりやすく伝えるための情報発信の場とする。また、商品カルテを掲載し、島外業者等と島内生産者・加工業者等の結びつきの場とする。
6	地産地消推進事業	B	B	A	市民への働きかけとして、これまでの普及啓発から、購買・消費活動といった実践へシフトすることを契機として、H31年度末における「地産地消の理解度」を100%とする。
7	地産地消推進計画策定事業	B	B	C	第2次地産地消推進計画策定により事業終了
8	学校米飯・米粉パン給食費補助金	A	A	C	学校教育課へ移管。
9	地産地消ポイント交換事業	B	C	C	佐渡産品を選び、手に取ってもらえるための取り組み。佐渡産品にポイントシールを貼り付け、一定ポイント数を集めると景品(佐渡市指定燃えるゴミ袋等)と交換する。
10	野菜・牛肉・鮮魚流通事業	B	A	B	これまで未利用だった比較的安価な鮮魚をホテルの朝食に提供すべく、流通体制の確立・強化・促進を図るもの。

Action

◆今後の事務事業の方向性◆

評価(担当課長)	事業の方向性	維持	予算の方向性	減額
事業の方向性 (事業全体の課題や改善方策など)	地産地消運動としての意識の啓蒙から購買・消費の実践へのシフト。同じ農産物で佐渡産品と他産品が並んでいたとき、多少値段が高かったとしても佐渡産品を選ぶことを実践する。			